

パビリオンに係る付帯資料:

登壇者メッセージ

Anthony CHONG、Kingsmen、グループマネージングディレクター

私たちは、シンガポールの豊かな文化と実績を世界の舞台で紹介する一翼を担えることを大変嬉しく思います。地元の才能ある方々と密接に協力して、シンガポールの独自性を紹介するだけでなく、自国の人々の創造力を称えるパビリオンを作ることを目指しています。シンガポール・パビリオンを訪れる方々に忘れられない体験をお届けすることをお約束します。

SEAH Chee Huang、DP Architects、CEO

DP Architects グループは、関西で開催される 2025 年大阪万博のシンガポール・パビリオンのクリエイティブチームの一員として参加することを大変嬉しく、誇りに思います。「小さな赤い点 (Little Red Dot)」からインスピレーションを得たこのデザインは、夢のような雲の風景に囲まれた、実物よりも大きな体験型球体で、この言葉を物理的に表現したものです。リサイクル素材で作られた何千枚ものドリームディスクに包まれたドリーム球体は、人々や地球という惑星の生活をポジティブに形作るという夢と決意に支えられた無限の可能性を秘めた素晴らしい世界を想像させる、多感覚の旅に世界の人々を誘います。シンガポール・パビリオンの特徴的なデザインと体験を通じて、来場者の方々が共通の価値観、目的、大胆な想像力、協調した行動が、すべての人にとってより良く、より持続可能で、より愛すべき未来を共に創造するための原動力となることを願っています。

仕様及び主な日程

仕様	面積: 敷地面積 900 sqm / 総床面積 (GFA): 1,706 sqm (3階すべての合計) 高さ: 3階建ての最も高いところで 17m / 横幅: 最大で 18.5 m リサイクルアルミニウムを利用したディスク: ファサードに 20,000 枚以上 没入感のある体験を来場者に提供する。
主な日程	敷地引き渡し: 2023 年 12 月 18 日 シンガポールパビリオン着工: 2024 年 1 月 10 日

パートナー企業情報

プロジェクトおよびコスト管理コンサルタント: Turner and Townsend

ターナー&タウンゼントは、世界 48 カ国に 10,000 人以上の社員を擁するグローバルなプロフェッショナル・サービス企業です。不動産、インフラ、天然資源の各分野でクライアントと協力し、大規模プログラム、プログラム管理、コスト・商業管理、ネット・ゼロ、デジタル・ソリューションを専門としています。

ターナー&タウンゼントは、世界最大の商業不動産サービス・投資会社である CBRE Group, Inc. が株式の過半数を所有し、パートナーが少数株主として参画しています。ターナー&タウンゼントと CBRE は協力して、世界中の市場で最高のプログラム、プロジェクト、コストマネジメントをクライアントに提供しています。ターナー・アンド・タウンゼントと CBRE は、脱炭素、社会の共生、生産的な世界を実現するための変革に情熱を注いでいます。

www.turnerandtowntsend.com

ターンキー・コントラクター: Kingsmen Exhibits Pte Ltd

展示会およびテーマパークやアトラクション事業のグローバルリーダーである Kingsmen Exhibits は、Kingsmen のグループ会社です。グローバルな体験のクリエイターである Kingsmen は、45 年以上の間、総合的な能力を以て、ワンストップでクリエイティブなソリューションを提供できるパートナーとして、画期的でシームレスなキャンペーンを世界中で提供してきました。また、シンガポール証券取引所のメインボードに上場するとともに、世界 18 か所に開設したオフィスによってグローバルなネットワークを構築し、創造性とデザインのパワーを活用しつつ、ブランドに命を吹き込む魅力的な物語を伝えています。

<https://www.kingsmen-int.com/>

アーキテクチャデザイン: DP Architects Pte Ltd

DP アーキテクト(1967 年設立)は、全世界 17 か所のオフィスに 1,000 人の従業員を擁する、世界有数の分野横断的なデザイン会社です。ゴールドen・マイル・コンプレックス、シンガポール・スポーツ・ハブ、ドバイ・モールなどのアイコン的なプロジェクトにより、その影響力は 70 か国以上に拡大してきました。DP は、社会経済的利益や人類と地球の健康の向上のために、持続可能よりもより良い成果を生み出すことに尽力しています。

<https://www.dpa.com.sg/>

マルチメディアパートナー: Finding Pictures

シンガポールを拠点とする Finding Pictures は、受賞歴のあるアニメーションスタジオです。当社は、非常に刺激的な発見の過程を大切に、ストーリーを伝え、アイデアを交換する新たな方法を探し続けています。当社の短編映画やアニメーションシリーズは、数多くの国際映画祭や授賞式で上映され、高い評価を得ています。また、批評家に称賛されたシンガポール建国記念日 2021 の公式ミュージックビデオ「The Road Ahead」のアニメーション制作を担当しました。このビデオは、シンガポールの日常的な実際の風景と想像力豊かなアニメーションの映像を重ね合わせたものです。

<https://www.finding.pictures>

マルチメディアパートナー: Milla&Partner GmbH

Milla & Partner は、体験デザインと空間コミュニケーションを専門とするドイツの代理店です。ベルリンとシュトゥットガルトを拠点として国際的に仕事をし、受賞歴もあります。有意義かつ革新的な方法によって様々な活動や分野をネットワークで結ぶために、学際的なアプローチを採り入れています。その仕事の中心は、人と人、ブランドと人、製品と人、テーマと人を結びつけることにあります。得意分野は、博覧会パビリオン、常設および臨時の展示会、ブランドの世界観、博物館等、画期的なあらゆる種類のスペースを創造し実行することです。

<https://www.milla.de/en/>

クリエイティブコンサルタント: Presplay Pte Ltd

「今」という時のために設立された、クリエイティブで多くの専門分野を持つ会社です。2009 年に Presplay を設立した Beatrice Chia-Richmond は、劇場やライブイベントにおけるシンガポールのクリエイティブディレクターの第一人者の一人です。ライブイベントの制作、上演、ショーのマネジメントを専門とする当社チームは、どんな時にもクオリティの高い体験を提供することを信条とする多才な専門家たちで構成されています。

<https://presplay.sg>

アーティスト・プロフィール

<p>Ashley Yeo アシュリー・ヨー</p> 	<p>1990 年生まれ。シンガポール在住。2011 年にシンガポールのラサール芸術大学で美術学士号を取得し、2012 年に英国・ロンドンのチェルシー・カレッジ・オブ・アーツ、ロンドン芸術大学で美術修士号を取得。シンガポール、日本、韓国、英国、米国にわたり、数多くの展覧会に参加。2018 年には、英国・ロンドン「ロエベ財団クラフトプライズ」において、シンガポール人アーティストとして初めてノミネートされた。</p> <p>軽快さと緩慢さをテーマとするアシュリーの作品は、享樂的な文化の蓄積に対する考察に基づき、柔らかさや壊れやすさを連想させる。また、紙の彫刻においては、幾何学、精密さ、シンプルな素材が持つ精神的な力を探求している。現在のアシュリーは、自然との関係維持に関心を持ち活動を行う。</p>
<p>Jerrold Chong ジェロルド・チョン</p> 	<p>数々の賞を受賞するアニメーション映画作家・監督として活躍。2022 年に、ナショナル・アーツ・カウンシル (NAC) からヤング・アーティスト・アワードを受賞。地元のアニメーションスタジオであるファインディング・ピクチャーズの共同設立者でもある。</p> <p>ジェロルドの作品は、カンヌ国際映画祭監督週間、釜山国際映画祭、アヌシー国際アニメーション映画祭、シンガポール国際映画祭 (SGIFF) など、数多くの国際映画祭で上映されている。また、2021 年のシンガポール建国記念日のアニメーション・ミュージックビデオ「The Road Ahead」の共同監督も務めた。</p>
<p>Melissa Tan メリッサ・タン</p> 	<p>1989 年生まれ。シンガポールを拠点に活動するビジュアル・アーティスト。2011 年にラサール芸術大学で、美術学士号を取得。これまでに、7 つの個展と多数のグループ展に参加し、最近では「ヤング・アーティスト・アワード 2023」を受賞した。</p> <p>2016 年のシンガポール・ビエンナーレ「鏡のアトラス」に、最年少で参加。また、フランスのシャトーや印象派展、ロンドンのストラルタ・アート・フェア、サーチ・ギャラリー、フランス国立芸術評議会のデナ財団アーティスト・レジデンシー・プログラムなどの展覧会などに参加した。</p> <p>メリッサの創造への関心は、常に自然への憧憬と、マッピングや文脈化のさまざまな方法に導かれてきた。最近のプロジェクトでは、動く空間オブジェクトの詩学と、古典的な神話や物語の共鳴を探求している。</p>
<p>Zul Mahmud ズル・マハムド</p> 	<p>シンガポールの現代アート界における著名人。サウンドアートへの革新的なアプローチで知られる。作品は、空間認識、聴覚建築、社会的テーマを探求し、さまざまな分野を融合させ、深いインパクトを与える。</p> <p>2006 年の「大垣ビエンナーレ」ではシンガポール代表として参加、2007 年の「ヴェネチア・ビエンナーレ」では、シンガポール初の本格的な音響彫刻を制作したことは顕著である。2017 年には、「シンガポール・ビエンナーレ 2016」への貢献が認められ、第 1 回福武総一郎賞を受賞した。「SONICreflection」は、その後、高い評価で福武財団に收藏され、ズルの世界的なアート界での地位を確立している確固たるものになっている。</p>